



RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2016-2017 年度 No.13

事務局(新) 〒939-1652 富山県南砺市福光新町 56

TEL 0763-55-6125

FAX 0763-55-6147

h.tonamirc@gmail.com

2016—2017 年度 会長 山本武夫、幹事 得永忠雄

2016-2017 年度 RI テーマ



(ジョン F. ジャーム会長)

例 会 記 録

第 1831 回例会

平成 28 年 9 月 28 日(水) よいとこ井波

1. 開会点鐘：会長
2. ソング：四つのテスト
3. ビジター：北村憲三会員(砺波 RC)、大西正芳会員(南砺 RC)



4. 会長の時間：(幹事報告含む)：昨日、アメリカ大統領選挙の公開討論がありました。これまでにない異色の候補が出ており注目を浴びています。ただ盛り上がっているのかは分かりません。今朝の北日本新聞には南砺市議会議員立候補予定者の記事が出ていましたが、RC は活動に政争の具を持ち込まないという不文律がありますので、個人的に精一杯応援して頂きたいと思います。幹事が早退しましたので私から何点か報告します。①地区大会の表彰において長寿ロータリアンとして横山豊介先生が受賞される予定であり、他にもガバナー賞、財団協力者、米山記念奨学会協力者など多くの方の名前があがっております。②ロータリー財団 100 周年のニコニコ BOX については、先日お話ししたとおり一人 1000 円を集金し、その中に 11 月 27

日に開催されるシンポジウム、2020 年の東京 RC 創立 100 周年寄付も含めるという連絡が来ております。

③RI 規定審議会についてのアンケートがきましたが、まだ対応していないと返事しました。11 月～12 月に地区で情報交換会が開催される予定もあり、それまで話を詰めていきたい。④10 月 12 日に予定の 5RC 以上共同プロジェクトにつきましては、高岡市より保育所の関係者など 40 名以上の参加申し込みがあったと聞いています。11 月 8 日「いい歯の日キャンペーン」が高岡イオンで開催されますが事前申し込みが必要ですので、参加いただける方は私までお知らせいただきたいと思います。ビジターの北村さんようこそいらっしゃいました。横山幹さん卓話よろしくお願ひします。冊子ありがとうございました。

5. 幹事報告(会長代理)：①2016 年 10 月のロータリーレートは、1 ドル 102 円②近隣クラブの例会変更は、事務局に確認を!③次週、理事会・委員長会議の前に、「ロータリーデー」準備委員会があります。また、例会後、地区大会懇親会の役割分担についての会合があります。・・・当日忘れたので会報にて!
6. 委員会委員会報告：①出席委員会(横山幹委員長)：21 名中 15 名出席 (71.43%) ②親睦活動委員会(坂井委員)：11 月 2 日に計画の秋の家族旅行は、金沢市方面で金屋石に関わりのある銭屋五兵衛記念館や兼六園の金澤神社などを観光し、食事をするというコースで

すが、詳しくは後日お知らせします。③坂井地区大会
懇親会実行委員長：昨日の実行委員会で**赤いネクタイ**
をいただきました。当日お渡しします。女性会員には、
胸に**ブローチ**を着けていただくことになります。10
月 22 日の晩餐会参加は 139 名で、23 日の大懇親会
は 900 名前後の参加予定であります。閉会の挨拶は
山本会長にお願いしてあります。④米山記念奨学会委
員会(三谷委員長)：来週は米山奨学生がまいりますの
で皆さんよろしくお願ひします。今年の奨学生は全体
で 18 名、半数が中国です。今回来てくれるのはマレ
ーシアの女性であります。



7. ニコニコBOX(SAA：本日 7 名)

大西正芳会員(南砺 RC)：本日突然の訪問、申し訳あり
ません。宜しくお願いします。

山本武夫会長：北村さんようこそ!今週末に初めての
幹線グリーン車で東京です。10 月 12 日 13 日歯
科保健講演会の準備が少しずつ進んでいます。
幹先生、初代一夢先生の話たのしみです。

得永幹事：選管に行くため早退します。

坂井会員：社員の結婚式のため早退します。

高瀬会員：北村さん大西さんようこそ!昨日まで蓄だっ
た金木屋、今日は咲いていました、いよいよ秋で
すね。所用で早退します。

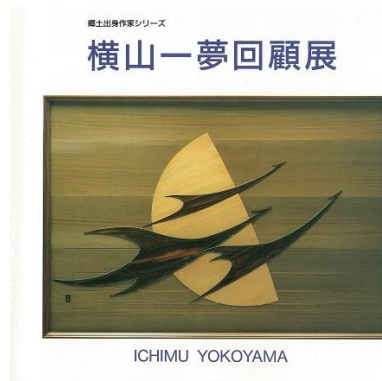
中島会員：昨日、障害者雇用優良事業所としてマーシ
園が県知事表彰を受賞しました。今日は所用のため
早退します。

岩崎会員：雨続きで稲刈りがまだ終わりません。月曜
日に首相官邸で橋復興副大臣を表敬訪問してきま
した。早退します。

卓話「初代横山一夢を語る。」 横山幹会員

横山幹会員： 本日は、初代横山一夢(当クラブパスト会
員：チャーターメンバー)について、語ります。皆さんの
お手元に持参したのは、平成 8 年 4 月県民会館美術館で開

催された、郷土出身作家シリーズ「横山一夢回顧展」のプ
ログラムです。本日は、このプログラムを紹介し、卓話に
させていただきます。【各自、頂きました】



プログラム表紙

ごあいさつ

富山県民会館では、「郷土出身作家シリーズ」として、美術界にお
いて優れた業績を残された郷土の作家をとりあげ、その人と芸術を
紹介しております。
本年度は本郷の工芸界において最長老ともいべき木工芸家、横
山一夢氏の回顧展を開催いたします。
氏は井波町に生まれ育ち、幼少の頃より 85 歳の今日まで木工芸の
道一筋に精進され、本郷工芸界の発展に大きく貢献されています。
現在は日展常務、および現代工芸美術家協会富山会名誉会長として
ご活躍されるとともに、両展を中心に積極的に作品の発表を続けて
おられます。

井波町は明治維新の開港場とある長い歴史を誇り、本郷
の工芸界の大きな柱となっています。とりわけ氏の作品は、伝統的
な技術に裏付けされた品性をもち、なにかの独自の創意を存分に発
揮されたものであります。そして、その長年にわたる業績に対し、
県知事賞をはじめ、富山県文化功労者、県認定無形文化財保持者の
認定など、数多くの受賞を贈られているのはご承知のとおりです。
今回の回顧展では、氏のたゆみない芸術創造の歩みを回顧いたし
ます。郷土の皆様には、格別高く、趣が深い作品の数々が一堂に集
まったこの機会に、心ゆくまで鑑賞いただければ幸いです。

富山県では今、うきうきに満ちた「文化のふるさとづくり」を積
極的に推進しているところであります。長年にわたり美の追求を続
けてこられた氏には、何卒今後ともご健康に留意され、本郷の芸術
文化の振興のために変わらぬご指導とご協力を賜りたいと念ずる次第
であります。

おわりに、本展の開催にあたり、多大なご協力を賜りました両展
家の皆様をはじめ関係各位に対し、厚く御礼を申し上げます。ご挨拶
とさせていただきます。

平成 8 年 4 月

財団法人富山県文化振興財団
理事長 中沖 豊

まだ少年のころだったろうか。家を普通請して間もない古きを治め
たら、横間の方を指しながら、「これはすばらしいだろう。越中・井
波で作られたものだよ。こうした仕事は、ここでないと思えない」と
自慢した。

その言葉が自然と耳にやきついていったせい、私自身富山で仕事
をするようになった時、「井波」の名前がすでによみがえってきた。
それはかなりではない。もう伝承されたが本郷で知られた(資料)の
きんが、私が富山へ行くとき、井波には本郷をすかすかする職人が
多い。自分も努力したつもりだが、職人に本郷の芸術家を体得さ
せるのはむかし。体に負をつけて、あせらずに、よい仕事して
ください。そう願った。

他所者がこんなことを言うよりも、地元の方々はずっと身近に井
波の横間を知り、誇りにしているわけだから、私はここでは触れな
い。その本郷の伝統を、さらに言うなら建築自体的様式が年を追
てくぐり変わり、和風の住まいの多くからも「開港場」が姿を消
そうという最近、こうした伝統の磨き上げられた手わざを、これら
の住居間にいかにかかすか——というのは大問題だろう。

この「開港場」の転換点に当って、井波のこの本郷形横間の長老
はなんと云っても横山一夢氏と云うことになるが、その横山さん
が六十余年の修業の軌跡を回顧的に展示して、ご自分の仕事を改め
て見直そうとする。

作品作品のなかには、勿論、横山さんの制作の原点になった横間
の、幸望にして巧みな技の仕事もみられるだろうが、戦後は次第に
パステル、靑立に力点を置き、美しい木の質感、木のこころの温か
さに思いをこめようになってきた。と同時にテーマとなる事物の
表現が、ぐんぐん単純化されてきた。昨年(昭和 59 年)の目録に発表し
た本郷が「伝説」は、作者の参加している工芸美術の職人にと
どまらず、絵画的にも、レトリック的にも麗しく、すがすがしく自然
に心をひくけるものがある。

井波の「開港場(あるいは工芸)」の明日への展望がこれからの
世代によってどのように試みられてゆくか——横山一夢さんの足跡
を辿りながら、後進たちのさらなる意欲を私は期待する。それが先
達者、横山一夢への真の感謝となるのではないだろうか。

(富山県立近代美術館名誉館長)

中沖豊県文化振興財団理事長と小川正隆富山県立近代美
術館名誉館長の言葉。

このほかに、清都井波町長(当時)、深山栄氏、可西泰三
氏、辻四郎氏、大角勲氏、得地秀生氏などの回顧展に寄せ
ての言葉がありました。(横山幹会員の朗読あり)



在りし日の初代横山一夢氏とその作品

さて、当横山家も初代一夢、二代一夢(幹会員)、三代一
夢(息子さん)と続いておりますが、なかなか初代みたいな
訳にはいきません。今後とも宜しく、お願い申し上げます。
(会報担当) 中島・長田(写真)・長谷川・山本武夫